（あて先）○○○○学校

別紙１

**学校における緊急時の医薬品「口腔用液(ブコラム®)」投与に関する主治医の指示書**

令和　　年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 医療機関名 |  |
| 連絡先 |  |
| 医師名 |  |

下記児童生徒は、下記４の状態になった場合、生命の危険または重篤な状態に陥る可能性があるため、以下の医薬品を投与し、下記のとおり対応してください。

|  |  |
| --- | --- |
| １．児童生徒の氏名・（性別） | 　　　　　　　　　　　　　　　　（ 男・女 ）　　　 |
| ２．生年月日 | 平成・令和西暦　　　　　　　　年　　　月　　　日 |
| ３．医薬品の名称、　　及び１回分の量 | 医薬品名称：口腔用液(ブコラム®)１回分の量：  |
| ４．医薬品を投与する必要がある生命が危険な状態等の具体的様子 | ■てんかん重積発作（　　　　　　　　　　　　　　）の状態 |
| ５．医薬品を投与する時期 | □けいれん発作が起きて　　分以上続いた場合 |
| ６．投与の方法 | ■嘔吐やよだれがある場合はふき取る。■シリンジを取り出し、キャップを外す（内側の白色キャップが外れていることを確認する）。■頬をつまみ広げ、シリンジ先端を下の歯ぐきと頬の間に入れる。■ゆっくりと、片方の頬粘膜に全量を／両方の頬に半量ずつ注入する（内筒が押しづらい場合は、内筒を少し引いてから再び押し注入するとよい）。 |
| ７．投与後等の対応 | ■保護者緊急連絡先への連絡■救急車による医療機関への搬送手配 |
| ８．医薬品の投与により　　副作用がある場合の　　処置の方法 | 呼吸抑制、徐脈以外の予測される副作用：処置の方法：□パルスオキシメーターや血圧計による経過観察 |
| ９．その他留意事項 | ■使用後のブコラム®は受診される医療機関の医療従事者または救急搬送を行う救急隊に渡すこと。■発作が再発した場合でも、追加投与は行わないこと。■該当医薬品の添付文書に記載されている「８　重要的な基本的注意」について事前に確認すること。□使用方法の詳細は、下記URLのPDF資料や動画を確認してください。（参考）武田薬品工業株式会社「ブコラム.jp」<https://www.buccolam.jp/patients/how_to/movie.html> |